

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市第2グループ(大師・藤崎・殿町)	評価対象年度	平成25年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	こども支援室長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	川崎区こども支援室

2. 事業実績

利用実績	<p>1 大師こども文化センター ①年間延べ利用者数 34,079人 ②年間延べ利用団体数 305団体</p> <p>2 大師小学校わくわくプラザ ①登録者数 166人 ②年間延べ利用者数 9,880人</p> <p>3 四谷小学校わくわくプラザ ①登録者数 152人 ②年間延べ利用者数 10,485人</p> <p>1 藤崎こども文化センター ①年間延べ利用者数 19,217人 ②年間延べ利用団体数 261団体</p> <p>2 藤崎小学校わくわくプラザ ①登録者数 252人 ②年間延べ利用者数 15,962人</p> <p>3 川中島小学校わくわくプラザ ①登録者数 215人 ②年間延べ利用者数 11,936人</p> <p>1 殿町こども文化センター ①年間延べ利用者数 31,877人 ②年間延べ利用団体数 849団体</p> <p>2 殿町小学校わくわくプラザ ①登録者数 257人 ②年間延べ利用者数 13,336人</p> <p>3 東門前小学校わくわくプラザ ①登録者数 398人 ②年間延べ利用者数 20,341人</p>
収支実績	<p>単位:円</p> <p>1 収入 指定管理料 145,333,101</p> <p>2 支出 人件費 119,405,028 事業費 9,678,405 事務経費 11,194,541 その他経費 141,510 合計 140,419,484</p> <p>3 差引 4,913,617</p>
サービス向上の取組	乳幼児や中高生を対象とした事業を充実させ利用が拡大している。また、地域や学校との協力関係を深めこども文化センターの魅力を高めている。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	順調に事業の推進が図られているか	10	4	8
		事業計画に基づき、こども文化センター事業とわくわくプラザ事業を着実に実施したか			
		こども文化センターの利用者数に増加傾向が見られるか			
		わくわくプラザにおいて、適切に児童を受け入れているか			
(評価の理由) 同一法人が運営する市内施設合同で「マンカラ大会・子どもサミット」「BUNBUNステージ」「子どもサミット」「10周年記念フェスタ」を開催し広く交流した。9館合同では川崎市の特徴である多文化共生をテーマに「スマイルフェスタ2013」「人形劇」、グループ合同行事として地域ボランティアの協力によりカローリング大会を実施、デイキャンプや大師公園でのネイチャーゲームで身近な自然を舞台に他施設の児童同士や世代間の交流を深めた。乳幼児親子利用への取組みとして月1度の計測会を新たに催し、記録カードの工夫やボランティアによる行事の結果好評を得、乳幼児の利用が大きく増えた。地域団体と協力して「親子体操」を実施したり館祭りや清掃活動、卓球大会を通じ運営協議会や利用団体、地域高齢者との世代間交流を深めた。中高生対象の「卓球名人に挑戦」「芳香剤作り」等の行事開催や定期的に利用する生徒とのコミュニケーションを深めた結果、中高生の利用が前年度比約4倍に伸びた館があった。					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理及び金銭管理をしているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づき適切な支出をしているか	5	3	3
		効率的な執行等、経費削減に具体的に取組んでいるか			
		サービスの水準を確保しているか			
支出に見合う効果が得られているか					
(評価の理由) 金銭管理・会計手続について適切に行われている。全20グループ53施設を管理している運営法人のスケールメリットを生かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品・備品の一括購入等の取組みによる経費削減を図るとともに、その剰余金を児童用図書、遊具、遮光・防炎カーテン、飛散防止フィルム等の備品購入や施設の整備・修繕による環境整備に充て、利用者還元している。					

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業の周知に積極的に取り組んでいるか	5	3	3
	利用者への対応	利用者に対するサービスが適切にされているか	5	3	3
		特別な配慮を要する利用者への対応が適切にされているか			
	運営協議会の実施	こども文化センター運営協議会を実施しているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会を実施しているか	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携しているか	10	4	8
	利用者ニーズ	利用者ニーズを把握し、事業運営に反映させているか	10	4	8
(評価の理由) 全市的にはかわさきFMでの放送や、各館では毎月のお便りを近隣の小学校や中学校及び関係機関(町会、区役所、社会福祉協議会)等へ配布し周知、ホームページにも掲載した。小学校、中学校、高等学校、スクールサポーター、PTA及び青少年指導員等と連携し、25年度からは地区学校警察連絡会に参加し地域の青少年にかかわる情報の共有を図った。各事業後のアンケートや意見箱に寄せられた意見をもとに自己評価を実施し改善した。特別な支援を必要とする児童へ環境や行事内容を配慮し、健常児童の理解も深まるよう工夫した。運営協議会や学校、地域団体や行政機関との連携で地域の中で見守られながら「カローリング大会」「南大師中で遊ぼう」等子ども達がのびのび楽しめる事業に多く取り組んだ。また、区役所や地域子育て支援センターと連携して事業を実施し、事業の推進と施設の有効活用を広げた。					
組織管理体制	適正な人員配置	児童福祉施設最低基準第38条の規定に従い職員を配置しているか	10	3	6
		こども文化センター及びわくわくプラザの施設管理と事業運営のために、指定管理仕様書において定める職員配置の最低基準どおりに人員を配置しているか			
		川崎市公契約条例を遵守しているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップに必要な研修を実施したか(外部研修の受講を含む)	10	3	6
個人情報等の取扱	個人情報保護に関する規定や体制を整備し、適正に取り組んでいるか	5	3	3	
(評価の理由) こども文化センター及びわくわくプラザにおいて、適正な職員配置を実施の上、特別な支援を必要とする児童については、適宜スタッフを追加で配置した。市が主催する研修や運営法人本部主催の研修、川崎市9館合同やグループごとの研修、館ごとの研修へ多数参加しスキルアップを図った。グループ研修では小学校校長や教頭を講師に「子ども対応」「人権教育」について学び、子どもたちとより良い関係を築くことで施設の運営向上につながった。また、小学校校長や養護教諭を迎え「子どもの健康安全対応」研修を開催し連携を深めた。個人情報等適正に取扱い、漏えいや紛失の事実はない。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障を来たすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備、備品管理等を適切に実施しているか	5	3	3
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保する体制(マニュアル等)を整備しているか	5	3	3
		事故等が発生した場合に適切な対応をしているか			
		感染症予防対策や発生時において、適切な対応をしているか			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯のための工夫をしているか	5	4	4
		災害発生時に備え、マニュアル等を整備しているか			
災害発生時に確実な対応・行動を取るための取組をしているか					
(評価の理由) 施設の点検や安全整備をチェックシートを用いて日々行い、必要な修繕や柵やフェンスの塗り替え等保守を迅速に実施し環境整備に努めた。全職員普通救命講習を受講し、設置したAEDを非常時使用できるよう研修を実施した。防災時対応マニュアルに基づき、各学校と土曜日や長期休業日も含め緊急時対応について体制を共有し、津波を想定した学校との合同訓練を行う等防災体制を強化した。各施設、避難経路や危険度が高い窓を優先に飛散防止フィルムを設置し施設の安全性を高めた。さらに全施設に非常食・保存水を追加で配備、新たにアレルギー児対応保存食を備蓄する等災害への備えも強化した。					

#### 4. 総合評価

評価点合計	67	評価ランク	C
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

全20グループ53施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、経費の一元管理によって各種研修、記念事業の開催、ノウハウの共有等によってサービスを提供し着実に事業を推進している。  
災害対策の強化として施設の環境を着実に整備し、備蓄品を充実させたことは評価できる。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

引き続き、こども文化センター及びわくわくプラザの利用者が安心して利用できるよう環境整備やスタッフの資質向上を図るとともに、利用者にとって各施設がより地域に根付いた居心地の良い場所となるよう努めること。